



萩東中だより



2019年
12月6日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.16

学校教育目標「ふるさと萩を愛し、志に生きる」 の意味の重さを実感しました！

11月30日、12月1日の二日間、萩市において「第17回全国藩校サミット 萩大会」が開催されたことをご存じですか。この催しは、江戸時代、全国の藩に設けられた学びの場「藩校」について広く知ってもらい、江戸時代の藩校教育を現代に生かそうという趣旨で、全国の藩校が残る各地域の持ち回りで行われるもので、第17回目となる今回のサミットは、萩藩校明倫館創建300年を記念して萩市で開催されることとなったものです。また、2017年から3年間にわたる「萩・明治維新150年祭」のフィナーレを飾るイベントとしても位置づけられています。私も実行委員の一人として参加をしました。

サミットには、全国39の藩校の関係者など、およそ800人が参加していましたが、中でも、江戸幕府19代当主徳川家広さん、水戸藩15代当主徳川斉正さん、萩藩18代当主毛利元敦さんなど、かつての幕府や大名家の家系を継ぐ当主20人が一人ひとり紹介され、ステージ上にずらっと並んだ時は、江戸時代、そして明治維新は決して過去の物語ではなく、歴史は現代に脈々とつながっているということを実感しました。また、全国各地の藩校が、新しい時代を切り拓くために「学問」に力を入れようとする中、ひときわ目立つのが、学問や武道以上に“ひとつづくり”に力を注いだ萩藩校明倫館と松下村塾の爆発的な活力です。その活力が、後に倒幕を成し遂げ、明治の新政府を支える人材を多く生み出したことは説明するまでもありません。

今回の藩校サミットは、萩の“志”教育のすばらしさをあらためて実感する機会となりました。萩東中学校は、明倫館や松下村塾のお膝元にあり、先人達がめざした“志”教育を脈々と受け継ぐ学校です。令和という新しい時代を迎え、いっそう“志”教育を推進し、広い視野とグローバルな視点をもって考えることができる子ども達を育てていかなければなりません。そんな思いを強める事ができた藩校サミットでした。

2学期も残すところ3週間となりました。3年生はいよいよ入試モードに入っていきます。6日には生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長のもと、まもなく新生徒会執行部が誕生します。学校一丸となって次のステージに進んでまいります。

(校長 網本 徳文)



生徒会役員選挙に向けたあいさつ運動の風景です！！



郷土料理「いとこ煮」について学習しました！

1年の家庭科で「山口県の郷土料理」について学習しています。11月22日（金）は、「萩元気食の会」の岡野理事長を講師にお招きし、「いとこ煮」の名前の由来等を教えていただき、試食もしました。その後、「いとこ煮」を未来に伝える方法をグループで協議しました。「まずは、自分たちが郷土料理をしっかりと知ることが必要」、「Instagramに写真を公開し、みんなに知ってもらおう」等の意見が出るなど、楽しい授業でした。



講義の様子



試食の様子



いとこ煮

12月の生徒集会♪

12月3日（火）6校時に、月1回の生徒集会が行われました。今回の生徒集会が、現生徒会執行部で企画運営される最後の集会でした。図書委員会企画の「ビブリオバトル」やお楽しみ会「ビンゴゲーム」等が行われました。少し時間オーバーしましたが、生徒たちは楽しい時間を過ごしていたようです。生徒会役員のみなさん、萩東中学校のために、1年間お疲れさまでした。本当にありがとうございました。



ビンゴゲームの様子



ビブリオバトルの様子



生徒会役員の「ふるさと」熱唱

「さつまいも」を収穫しました！！

そよかぜ学級が、12月3日（火）に、幸坂國義さんを講師に、さつまいもの収穫を行いました。6月に植え付けをしたさつまいもが、予想以上に大きく成長しており、生徒たちも驚いた様子でした。収穫したさつまいもは、給食の食材として活用していただく予定です。生徒の皆さん、お楽しみに！



幸坂さんの事前指導



さつまいもを掘っている様子



収穫したさつまいもの一部